

教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

(1) 本学の学科・コース設定の趣旨と履修モデルについて

本学の学生の進路希望は多様であり、卒業生の進路も多岐に渡る。そこで、本学は、教職課程や、資格対策科目、キャリア養成科目等も含めて、非常に多様な科目を開講して学生のニーズに応える方向でカリキュラムを編成しています。

★大まかな開講科目の配置については、カリキュラム図のとおりです。

(2) 主要科目の特徴

基礎科目

- ①**基本科目**：いわゆる教養教育のための科目群で、多様なジャンルの講義を開講しています。また、情報化社会へ対応させるため、「情報リテラシー」を必修または、必修履修としているほか、より高度なICT関連科目を開講しています。
- ②**外国語科目**：本学法学部の教育目標である国際化への対応に向けて、英語、ドイツ語、フランス語、中国語を開講しています。
- ③**保健体育科目**：本学は知育だけでなく体育も重視していますが、特に、スポーツ法コースでは、体育理論と実習に重点を置き、必修としています。

専門教育科目

<必修科目>

専門教育科目の入口である、入門又は概論科目を1年次に必修としています。これは、2年次以降で発展的な科目を選択できるようにするためです。

全てのコースで、法学入門、憲法概論、刑法概論、民法概論、商法概論、行政法概論が必修とされています。

<選択必修科目>

情報と法コースでは、学生の多様な選択の余地を入れ、法学と情報分野の面で広く学修してもらえるように、指定された選択必修科目群から、一定単位数を履修することとしています。

○演習科目

本学では、1年次から卒業まで、いずれかの演習科目に所属して専任教員の指導を受けなければならないことになっています。

(1年次：必修)「プレゼミ」：法学系の専任教員による演習。

(1年次：選択)「フレッシュマン・セミナー」：専門科目以外の専任教員による演習。

(2年次：選択必修(複数履修可))

「法学政治学演習」：法学系の専任教員による演習。

「教養演習」：専門科目以外の専任教員による演習。

(3・4年次)「研究会」：法学系の専任教員による演習。

(3) 科目ごとの目標等について

本学は、設立当初より実学を掲げており、卒業生の進路についても丁寧な指導・支援を心掛けてきました。例えば、本学キャリアセンターにおいて、公務員試験対策講座や各種資格試験対策講座を開講し、さらに、学部内において「教職課程」を設置して、学生がそれぞれの進路に応じた試験に合格することを目指しています。

学部教育における科目ごとの目標については、シラバスに到達目標欄を設定し明示するようにしています。

本学においては、教養教育と専門の法学教育のいずれにも多数の演習科目を置き、かつ小人数教育を開学以来継続してきたことによって、教員と学生の距離が非常に近く、知識にのみ偏った教育ではなく、本学の教育理念である「真心教育」を実践してきました。

今後も、学生のニーズに合わせた科目の目標設定は当然のこととして、科目ごとの知識の修得だけでなく、人間形成に資するような教育を心掛けていく方針です。